

〈学校教育目標〉 ○かみがえる子 ○おもいやる子 ○やいぬく子 ○たくまいい子

～栃木市内どこからでも通える“ひまわりの咲く”小規模特認校～



大南小だより 5月号

～Third stage～

栃木市立大宮南小学校 Tel:22-1483 <http://www.tcn.ed.jp>
2018.5.14 文責：校長 倉井 誠

〇授業参観、PTA総会、学年懇談会、歓送迎会お世話になりました。

お忙しい中、4月27日（金）にはご出席いただきましてありがとうございました。PTA本部役員を始め、監事、学年委員の皆様には大変お世話になります。今年度も廃品回収や奉仕作業、大南祭など様々な行事が予定されておりますが、「子どもたちのために」を合い言葉に、全ての保護者の皆様のご協力を頂きますよう、どうぞよろしくお願いいたします。お世話になります。

平成30年度PTA本部役員の皆様（学年児童等）			
会長	國分 孝洋さん（6年柚葉）	庶務	竹川 奈穂さん（6年瑠香）
副会長	浅野 卓嗣さん（6年菖月）	庶務	山岸 潤子さん（5年夢歩）
副会長	横島純さん（6年琉、2年怜）	庶務	教頭（金敷美由紀）
副会長	穴田 将志さん（5年大夢）	会計	黒田 知美さん（6年梨朱）
参事	校長（倉井 誠）	会計	山納 美里さん（5年来倭）
顧問	前年度会長（田村将徳）さん	会計	教務主任（佐々木敦）

〈授業参観：1年生〉



〈PTA総会〉



〈学年懇談会：6年生〉



〇地域の皆様、いつもありがとうございます。

～本校の学校運営協議会、アシストネットのご協力～

〈5月8日 除草作業〉

〈5月11日 児童のひまわり種蒔き〉

〈5月11日 昇降口の掲示作業〉

学校運営協議会の皆さんやアシストネットの皆さんが自主的に



本校のボランティアをしてく

ださり、感謝の気持ちでいっぱいです。「運動会前に児童のためにきれいにしたい…。」数日前に電話があり、「なんて温かい地域なんだ…。」うれしさと同時に地域の方々の思いに答えられるよう、日々の教育活動に当たっていこうと誓いを新たにしました。いつも本当にありがとうございます。きれいになった花壇等に、全児童で「ひまわりの種」を一所懸命播きました。

また、この日、アシストネットの皆さんに校内の掲示物作成をしていただきました。今年も「大

南小ひまわり教室」の開催を始め、「読み聞かせ」(のびっ子タイム)や授業での「ミシンボランティア」など、いろいろな場面での教育活動でも大変お世話になります。

〇小規模特認校「Third Stage」

5/8(火) 下野新聞

2013年度に小規模特認校となった栃木市立大宮南小(80人)で本年度、新入生16人が入学し、小規模特認校制度導入後、初めて複式学級が解消された。児童数増加という成果を受け、本年度からは特認校では珍しい「病弱・身体虚弱特別支援学級」を

設置、さらなる児童のサポートを図る。一方で同制度導入後初の卒業生輩出を控え、制度を利用し、学区外から通う児童の保護者には、中学校という「大規模校」に進学を不安視する声も。同校の現状を探った。(斎藤誠入)

16人入学、初の複式解消

4月1日に始まった新学期、大宮南小の校門には、新入生16人と保護者約30人が集まり、入学式が行われた。児童数は、前年度に比べて16人増加した。これは、小規模特認校制度導入後、初めて複式学級が解消されたためである。また、本年度からは特認校では珍しい「病弱・身体虚弱特別支援学級」が新設された。

地域サポート充実奏功

児童数の増加に伴い、地域との連携が重要視されている。本年度は、地域の企業や団体と連携し、児童の学習や生活に役立つサポートを提供している。また、保護者の不安を解消するため、学校側が積極的にコミュニケーションを図っている。

中学進学への不安にも対応

小規模特認校制度導入後、卒業生が中学校に進学する際の不安を解消するため、学校側が積極的にサポートを行っている。また、保護者の不安を解消するため、学校側が積極的にコミュニケーションを図っている。

<第1回 話そう集会> (4月20日 金)



なかよし班で種々の話題や課題について話し合い、本校で目指す「だれとでも進んでコミュニケーションを取り、自信を持って行動できる子」の育成を図ります。

<のびっ子タイム> (5月10日 木)



朝の時間を利用し、国語、算数を中心に全職員による、一人ひとりに応じたきめ細かな学びの充実を図ります。

<5月8日(火) 下野新聞：本校の記事>

本校の「特色ある教育」を公開します。 本校児童の生き生きとした姿をご覧ください。また、学校は、いつでもご覧いただけます。(内容は昨年例です。今年の詳細は後日連絡します。)

第1回オープンスクール
10月27日(土)
 「ALT との外国語活動」、「元 NHK アナウンサーによるコミュニケーション教室」、「おもしろ科学教室」など。

第2回オープンスクール(大南祭)
12月1日(土)
 「ワールドツアー」(9:30~12:00) 「バザー、お楽しみ広場」(12:00~14:20) など。

東陽中学校区の小中学校では、毎月14日に、『ノータレビデー・ノーゲームデー』を推進しています。
 ◎家庭学習時間の確保
 ◎家庭とのコミュニケーション(会話・料理・スポーツなど)の確保
 ◎生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確保

【まことク】その2 ～「大南小の子どもたち」へズームイン！～

私は、もともとビデオ等の情報機器の扱いが苦手で、どちらかというと得意ではありません。特にビデオ撮影は、苦手であまり好きではありません。

今からもう20年近い前のことですが、長男が6年間お世話になった保育園の卒園式に妻と一緒に出席しました。苦手なビデオの撮影を私に任せられ、息子の晴れ姿を自分なりに一生懸命に撮影しました。

そのビデオを最近見たのですが、そこに映っていたのは、当たり前といえば当たり前なのですが、ほとんど「私の息子だけ」でした。その当時の先生や友だちはあまり映っていません。息子は、先生や友だちとどんな関わり具合で、この日、思い出深い保育園を卒園したのだろうか…?

ビデオカメラのズームを、ずっとずっと引いていくと、「子ども」から「子どもたち」の関わりの様子が見られます。学校という集団の学び合いの場こそ、このことが一番大切なのではないかと思います。

ビデオ撮影をあまりやらず苦手な私に、妻は不満もあるようですが、「子どもたち」全体のなまの様子を目に焼き付けることも大切なのではないと思う今日この頃です。間もなく**本校の運動会**です。どうぞお子様の一生懸命の姿に応援をお願いしますとともに、関わりの様子についてもよくご覧くださいませ。(ちなみに、息子の卒園式ビデオには、感動感激のあまり、啜り泣く嗚咽の声も入っていました。いったい、これは、誰の声??)